



藤田観光株式会社  
2022年12月期 第3四半期  
決算説明資料

2022年11月8日  
藤田観光株式会社  
(証券コード：9722)

# 損益計算書



FUJITA KANKO

2022年12月期 第3四半期決算説明資料

## 早期黒字化に向けて、回復する需要を確実に捉え、 3Q累計で前年比101億円増収、87億円の大幅な営業赤字縮小

- ▶ 第7波の影響を受けるも業績予想の想定範囲内で推移
- ▶ コスト改革は削減効果一巡、コスト増加を最低限に留めつつ売上拡大により利益を高める局面へ
- ▶ リゾート事業3Q（7～9月）においては2020年4Q（10～12月）以来の営業黒字化

(百万円)			2022年	2021年	前年比	<参考> 2019年 3Q累計実績
	上期実績 1～6月	3Q実績 7～9月	3Q累計 実績	3Q累計 実績		
売上高	18,308	11,029	29,337	19,221	10,116	50,035
WHG事業	8,421	5,381	13,803	7,214	6,588	27,870
ラグジュアリー-&バンケット事業	6,628	3,250	9,879	8,176	1,702	15,319
リゾート事業	2,200	1,800	4,001	2,523	1,477	4,482
その他（調整額含む）	1,058	595	1,654	1,306	347	2,362
営業利益	▲3,804	▲572	▲4,376	▲13,170	8,793	▲720
WHG事業	▲2,621	▲509	▲3,131	▲9,680	6,549	1,409
ラグジュアリー-&バンケット事業	▲403	▲284	▲688	▲2,089	1,401	▲977
リゾート事業	▲586	223	▲363	▲937	574	▲591
その他（調整額含む）	▲192	▲1	▲194	▲463	268	▲560
経常利益	▲3,512	▲683	▲4,195	▲13,804	9,608	▲593
特別利益	912	175	1,088	36,712	▲35,624	267
特別損失	-	46	46	3,161	▲3,115	163
税金費用等	▲41	7	▲33	1,390	▲1,424	▲678
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲2,558	▲561	▲3,120	18,355	▲21,476	▲421

# 損益計算書 (売上・営業利益推移)



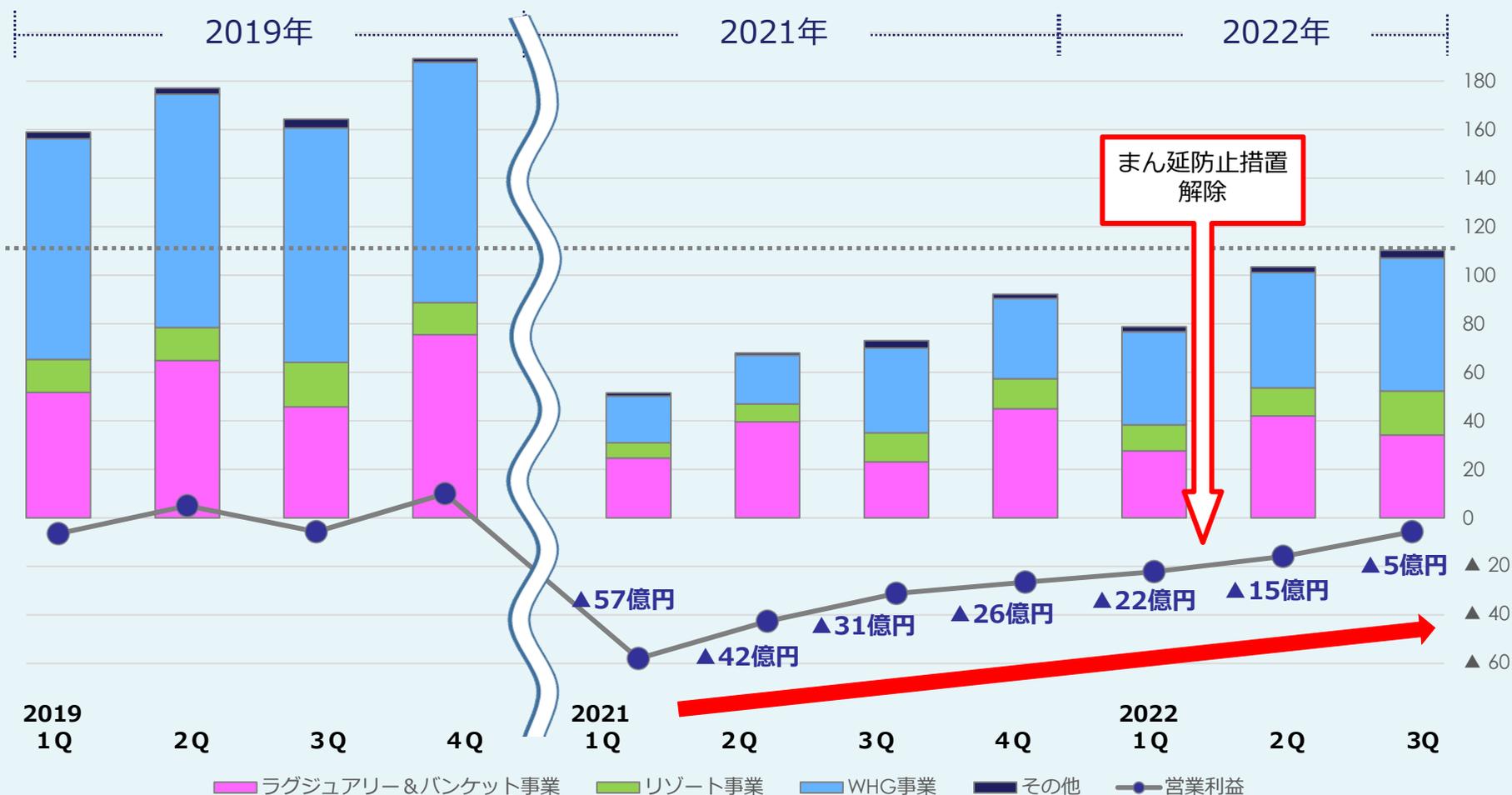
2022年12月期 第3四半期決算説明資料

- ▶ リゾート事業の好調もあり6 四半期連続で赤字が縮小
- ▶ 2019年比では売上高は6 割程度の回復

セグメント別売上高 対2019年回復率 WHG事業：50%、ラグジュアリー&バンケット事業：65%、リゾート事業：89%

## 売上高・営業利益推移

(億円)



# 損益計算書 (コスト・営業利益増減要因)



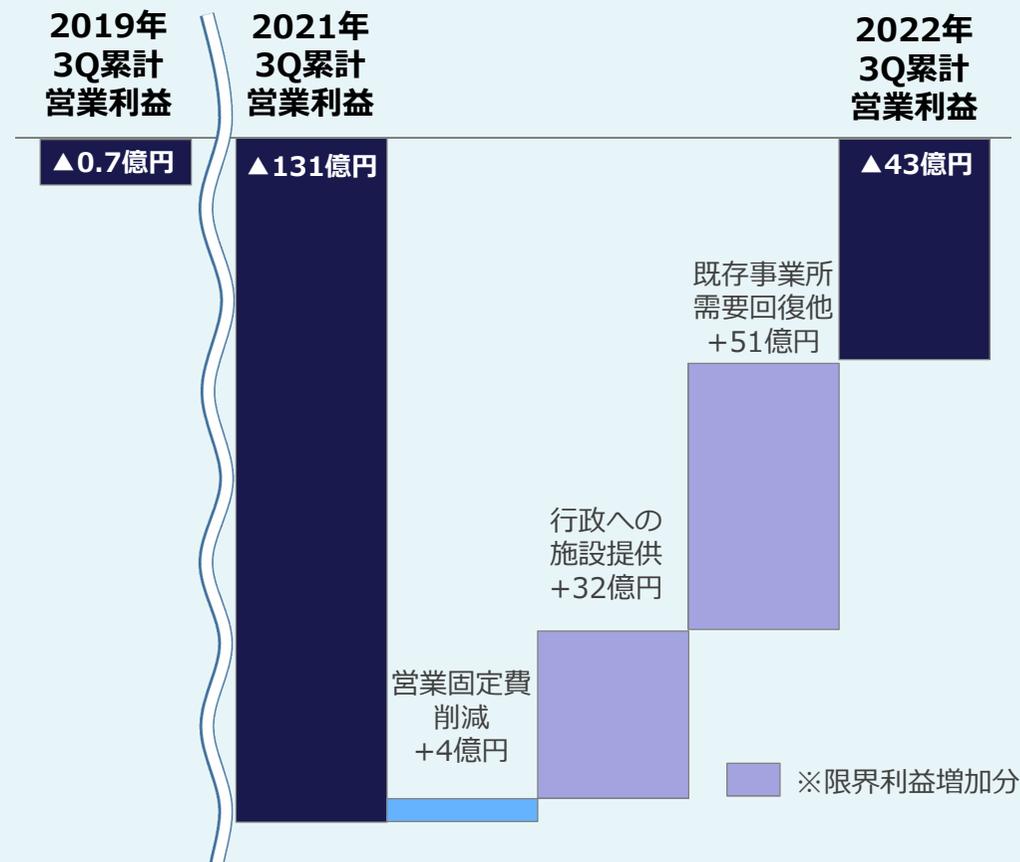
2022年12月期 第3四半期決算説明資料

▶コスト削減効果は一巡し、既存事業所の需要回復による増収効果が大幅な赤字縮小に貢献

## 営業固定費の推移



## 営業利益 前年比増減要因



【行政への施設提供（一棟貸し）】合計2,294室  
 ①ホテルグレイスリー新宿（970室）・・・現在も提供中  
 ②東京ベイ有明ワシントンホテル（830室）・・・10月まで  
 ③ホテルタビノス浅草（278室）・・・3月まで  
 ④ホテルグレイスリー田町（216室）・・・3月まで

# WHG事業 3Q概況



2022年12月期 第3四半期決算説明資料

## 3Q (7~9月)

### 観光支援策等で喚起された需要を取り込み 前年比増収、赤字縮小

- 第7波による感染者数拡大を受け、東京エリアの宿泊予約進捗が鈍化するも、前年比では稼働率向上
- 東京以外のエリアは夏休みの旅行需要を捉え、前年比で稼働率・ADRともに向上

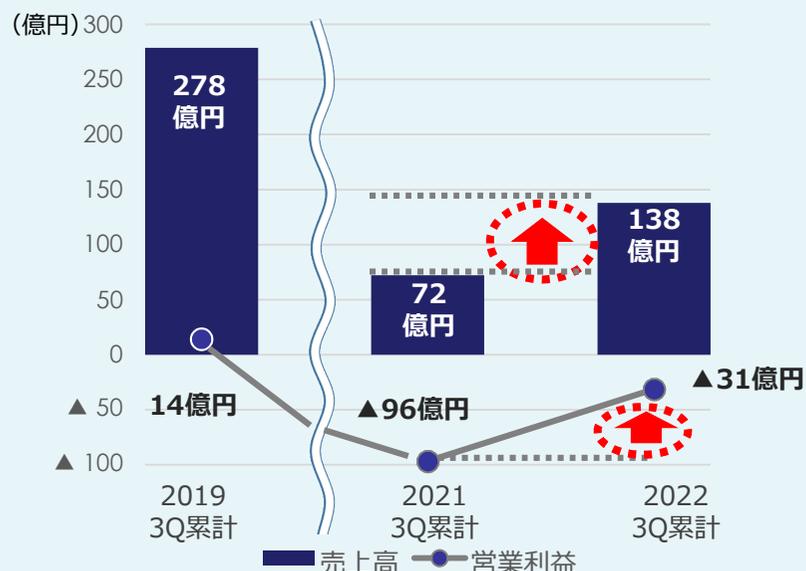
### WHG 営業指標 前年・2019年との対比

※前年は東京2020関連利用あり

7~9月	前年比※		2019年比	
	ADR	稼働率	ADR	稼働率
合計	▲2.4%	+28.3pt	▲31.4%	▲16.3pt
東京	▲24.4%	+27.5pt	▲46.8%	▲16.2pt
東京以外	+33.1%	+29.2pt	▲12.5%	▲16.3pt

## 3Q累計 (1~9月)

### WHG事業 売上高・営業利益推移



### WHG 営業指標 前年・2019年との対比

※前年は東京2020関連利用あり

1~9月	前年比※		2019年比	
	ADR	稼働率	ADR	稼働率
合計	+14.5%	+24.3pt	▲37.5%	▲23.7pt
東京	+4.1%	+26.7pt	▲51.4%	▲21.0pt
東京以外	+22.5%	+21.1pt	▲21.4%	▲26.3pt

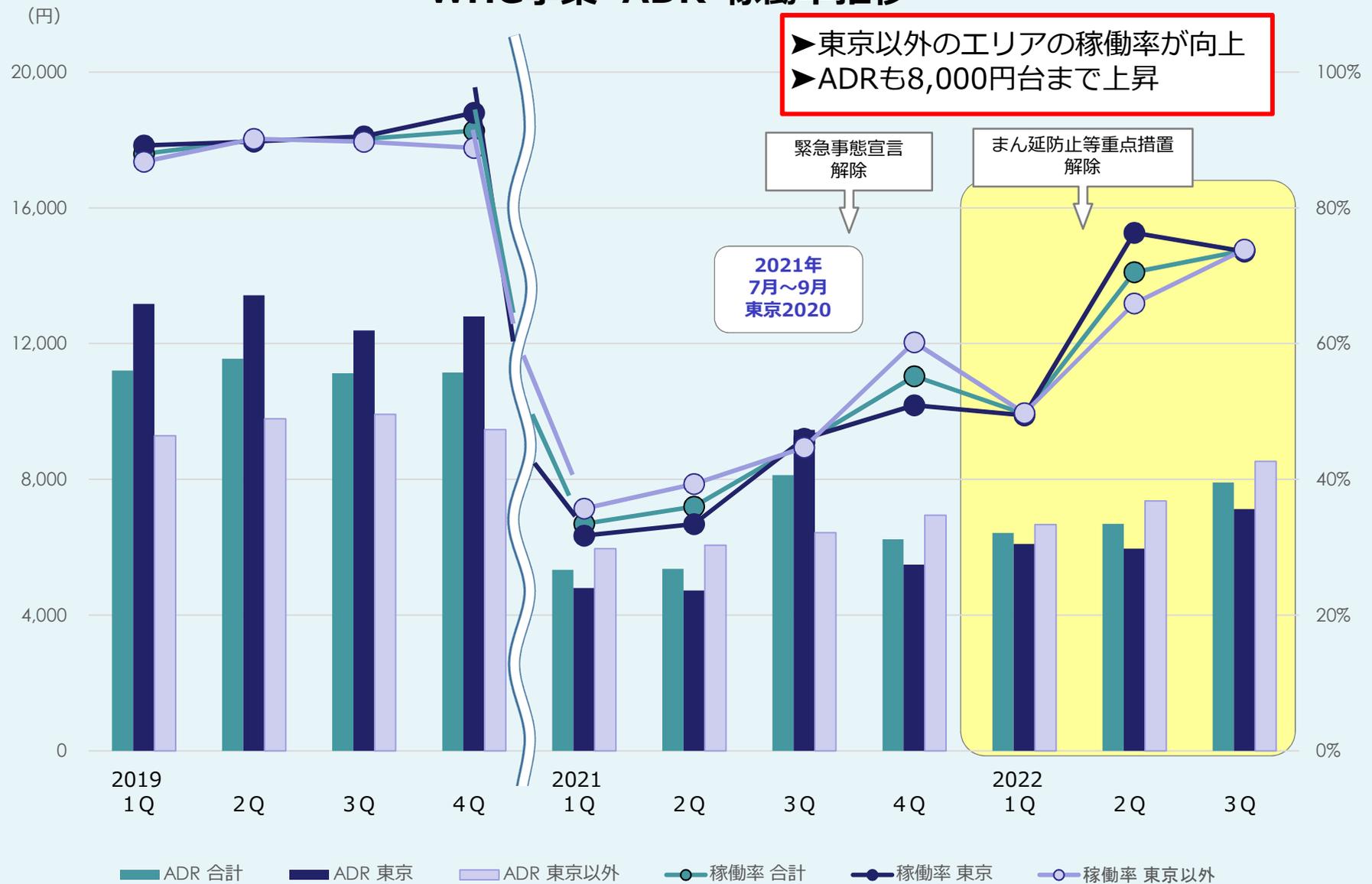
2022年実績：下記事業所を除く

1~3月 ホテルタビノス浅草、ホテルグレイスリー田町（行政への提供）  
キャナルシティ・福岡ワシントンホテル（工事のため営業休止）

1~9月 ホテルグレイスリー新宿、東京ベイ有明ワシントンホテル（行政へ提供）

# WHG事業 ADR・稼働率推移

## WHG事業 ADR・稼働率推移



# ラグジュアリー&バンケット事業 3Q概況



2022年12月期 第3四半期決算説明資料

## 3Q (7~9月)

### 全事業所において堅調に推移

#### 【ホテル椿山荘東京】

- 宿泊部門：「東京雲海」関連商品やスイートルーム 拡販施策を継続実施
- 婚礼部門：単価および成約率向上施策を継続
- 料飲部門：第7波の影響を受けるも感染者数が減少に 転じると好調に推移
- 宴会部門：需要回復により前年比人員数大幅増加、 2019年比では4割程度の回復に留まる

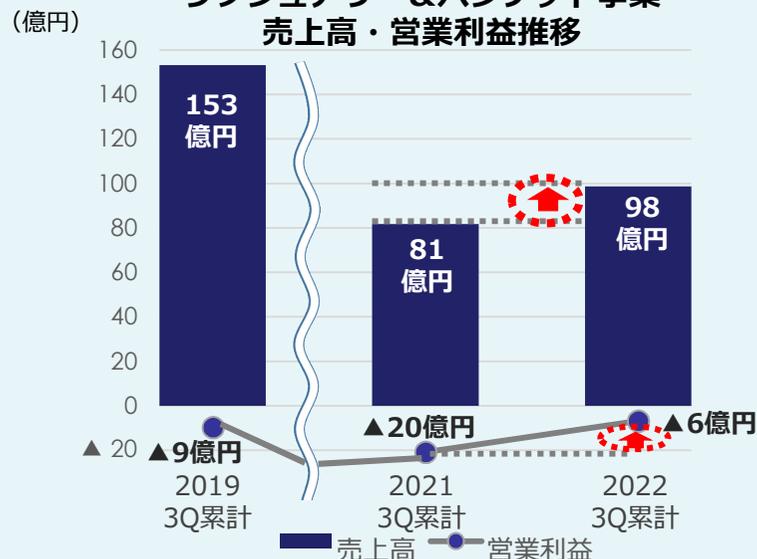
#### ホテル椿山荘東京 営業指標 前年・2019年との対比

※1 前年は東京2020関連利用あり ※2 一人あたり単価

7~9月	前年比※1		2019年比	
	ADR	稼働率	ADR	稼働率
宿泊部門	▲17.4%	+16.5pt	+22.1%	▲10.7pt
婚礼部門	単価※2	人員	単価※2	人員
	▲10.8%	+99.3%	+36.3%	▲24.4%
宴会部門	単価※2	人員	単価※2	人員
	▲5.5%	+211.8%	+8.3%	▲59.7%

## 3Q累計 (1~9月)

### ラグジュアリー&バンケット事業 売上高・営業利益推移



#### ホテル椿山荘東京 営業指標 前年・2019年との対比

※1 前年は東京2020関連利用あり ※2 一人あたり単価

1~9月	前年比※1		2019年比	
	ADR	稼働率	ADR	稼働率
宿泊部門	▲5.6%	+14.6pt	+20.1%	▲22.1pt
婚礼部門	単価※2	人員	単価※2	人員
	▲7.8%	+56.1%	+40.3%	▲36.7%
宴会部門	単価※2	人員	単価※2	人員
	▲7.0%	+173.1%	+19.4%	▲72.5%

# リゾート事業 3Q概況



FUJITA KANKO

2022年12月期 第3四半期決算説明資料

## 3Q (7~9月)

### 「箱根小涌園 天悠」が好調

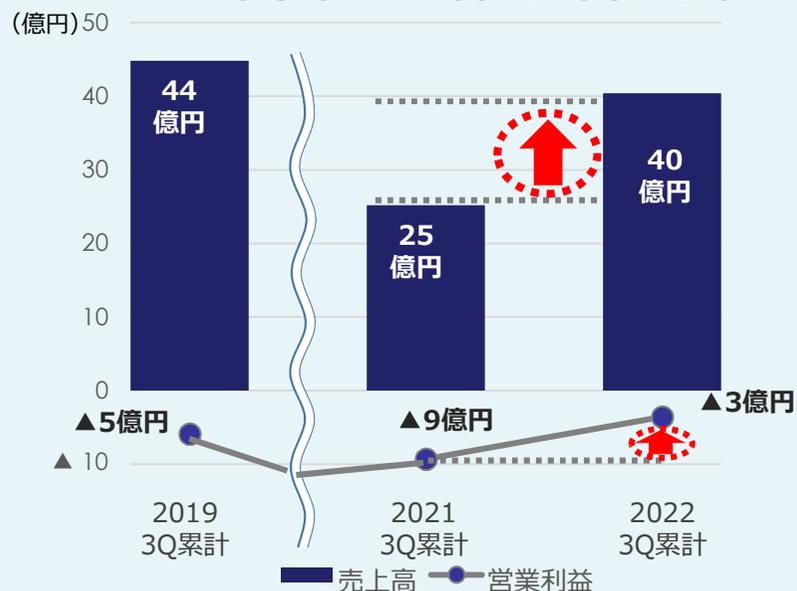
- 天悠においてディナービュッフェ付プランなどファミリー層向け商品の増強が奏功し、夏休み期間の1室あたり利用人数が上昇、ADR向上に寄与  
→8月単月では開業以来最高の売上を確保
- 「箱根小涌園ユネッサン」では8月前半は感染者数拡大の影響を受けるも、メディア露出を増加させることで、お盆期間以降は入場人員が回復

### 営業指標 前年・2019年との対比

7~9月	前年比		2019年比	
	ADR	稼働率	ADR	稼働率
箱根小涌園 天悠	+9.1%	+26.5pt	+5.2%	+2.3pt
箱根小涌園 ユネッサン	入場 人単価	入場 人員	入場 人単価	入場 人員
	+0.8%	+49.9%	▲1.5%	▲8.8%

## 3Q累計 (1~9月)

### リゾート事業 売上高・営業利益推移



### 営業指標 前年・2019年との対比

1~9月	前年比		2019年比	
	ADR	稼働率	ADR	稼働率
箱根小涌園 天悠	+0.5%	+30.3pt	+1.8%	▲6.2pt
箱根小涌園 ユネッサン	入場 人単価	入場 人員	入場 人単価	入場 人員
	+0.6%	+57.6%	▲4.9%	▲16.5%

# 部門別売上高



2022年12月期 第3四半期決算説明資料

## 部門別売上高（1～9月）

(百万円)	部門	売上高実績	前年比	参考前年比※2
W H G	宿泊	12,417	6,320	—
	その他※1	1,385	268	—
ラグジュアリー&バンケット	宿泊	1,268	191	—
	婚礼	4,557	401	1,325
	宴会	1,029	451	551
	料飲	1,910	502	712
	その他※1	1,113	154	—
リゾート	宿泊	2,883	1,128	—
	日帰り・レジャー	989	343	—
	その他※1	127	5	—

## 部門別売上高（7～9月）

(百万円)	部門	売上高実績	前年比	参考前年比※2
W H G	宿泊	4,843	1,890	—
	その他※1	538	77	—
ラグジュアリー&バンケット	宿泊	469	26	—
	婚礼	1,460	498	546
	宴会	316	181	—
	料飲	642	279	—
	その他※1	360	45	—
リゾート	宿泊	1,191	430	—
	日帰り・レジャー	563	189	—
	その他※1	45	2	—

※1 その他：セグメント間の内部売上を含む

※2 参考前年比：

ラグジュアリー&バンケット事業：2021年に営業を終了した「太閤園（6月営業終了）」「オペラ・ドメーヌ高麗橋（6月営業終了）」「マリコレ ウェディングリゾート&レストラン（12月営業終了）」「鞆ヶ谷ガーデン アグラス（12月営業終了）」の影響を除外

# 貸借対照表



2022年12月期 第3四半期決算説明資料

- ▶ 総資産は前期末比79億円減少の1,048億円
- ▶ 純資産は親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴い24億円減少の263億円  
自己資本比率は前期末と同水準

	2020年末	2021年末	当四半期末
純資産	13億円	288億円	263億円
自己資本比率	1.2%	25.4%	25.1%

(百万円)

<資産>	2022年9月	2021年12月	前期末比	主な増減要因
流動資産合計	35,269	44,276	▲9,006	現預金の減少
固定資産合計	69,583	68,486	1,097	
資産合計	104,853	112,762	▲7,908	
<負債・純資産>	2022年9月	2021年12月	前期末比	主な増減要因
流動負債合計	24,266	23,935	330	
固定負債合計	54,203	59,993	▲5,790	借入金返済等による減少
負債合計	78,469	83,929	▲5,459	
純資産合計	26,384	28,833	▲2,449	利益剰余金の減少
負債純資産合計	104,853	112,762	▲7,908	

# 2022年12月期 業績予想



2022年12月期 第3四半期決算説明資料

- ▶インバウンド受け入れ本格再開、全国旅行支援開始により国内外の観光需要が回復
  - ・この需要を確実に取り込む体制を整え、年内の収益最大化に注力
  - ・一方で、欧州で感染者数が再拡大するなど国内での第8波の懸念

➡2022年8月9日発表の業績予想を据え置き

	上期	下期	通期
	2022年実績 (8/9発表)	2022年予想 (8/9発表)	2022年予想 (8/9発表)
(百万円)			
<b>売上高</b>	<b>18,308</b>	<b>22,191</b>	<b>40,500</b>
WHG事業	8,421	10,878	19,300
ラグジュアリー-&バンケット事業	6,628	7,571	14,200
リゾート事業	2,200	2,699	4,900
その他(調整額含む)	1,058	1,041	2,100
<b>営業利益</b>	<b>▲3,804</b>	<b>▲2,195</b>	<b>▲6,000</b>
WHG事業	▲2,621	▲1,978	▲4,600
ラグジュアリー-&バンケット事業	▲403	203	▲200
リゾート事業	▲586	▲313	▲900
その他(調整額含む)	▲192	▲107	▲300
<b>経常利益</b>	<b>▲3,512</b>	<b>▲2,387</b>	<b>▲5,900</b>
<b>当期純利益</b>	<b>▲2,558</b>	<b>▲2,141</b>	<b>▲4,700</b>

# 事業計画（2021年～2025年）の主な取組み内容



2022年12月期 第3四半期決算説明資料

## 戦略Ⅰ 構造改革 の推進

- ◆ コロナ禍影響の最小化に向けた費用対策（不採算事業対策、コスト削減）  
→賃料減額（2022年通期約▲11億円）、  
自治体への一棟貸しに伴う労務費圧縮ほか費用構造対策を実施
- ◆ コロナ収束後の収益最大化に向けた生産性向上対策  
→WHG販管部門・事業所の役割と組織の再編  
→2022年4月より新人事制度を導入

## 戦略Ⅱ 事業ポート フォリオの 見直し

将来の持続的な成長・収益拡大を見据えた施策展開

- ◆ マーケティング・ブランディング戦略の推進  
→ホテル椿山荘東京開業70周年関連施策の展開
- ◆ デジタル化（DX）の一環としてデジタルマーケティングへの取り組み強化  
→2022年4月より新会員プログラム「THE FUJITA MEMBERS」開始  
予約率・予約金額ともに旧会員プログラムよりも好調に推移
- ◆ 箱根小涌園再開発の着実な推進  
→2023年7月の新ホテル開業に向け予約受付開始、建設工事も計画通り進捗  
ユネッサン機能強化についても新ホテル開業と同時に完了予定

# 事業計画（2021年～2025年）の主な取組み内容



2022年12月期 第3四半期決算説明資料

## ホテル椿山荘東京 開業70周年 一庭園活用により滞在の付加価値を向上

- ▶ 本年開業70周年を迎えるホテル椿山荘東京では、東京のオアシスを継承すべく、2020年から3カ年かけて庭園プロジェクトを推進
- ▶ 椿・桜をはじめとする季節の花々や、自然、霧に包まれた幻想的な「東京雲海」、「森のオーロラ」など、当ホテルでしか体験できない7つの絶景が評価され、国内外のアワードを受賞

グランプリ  
受賞



**PRIX VILLEGIATURE AWARDS**  
(フランス)  
The Best Hotel Ambience in the World  
～世界で最も雰囲気のあるホテル～

銀賞受賞



**日本空間デザイン賞**  
エンターテインメント&クリエイティブ  
・アート空間部門

## ～ ホテル椿山荘東京 “東京雲海と七つの季節” ～



椿



桜



新緑



蛍



涼夏・深緑



秋



冬

# 事業計画（2021年～2025年）の主な取組み内容



2022年12月期 第3四半期決算説明資料

## 箱根小涌園 再開発

- ▶2023年7月開業に向け、「箱根ホテル小涌園」の予約を開始
- ▶ホテル開業に合わせ「箱根小涌園ユネッサン」では4つのゾーンを整備し体験型の複合リゾートへ

### アクティブゾーン

箱根エリア初の流れるプールを中心としたエリア  
リラクゼーションルームも整備し、動・静それぞれの過ごし方を充実

### アウトドアゾーン

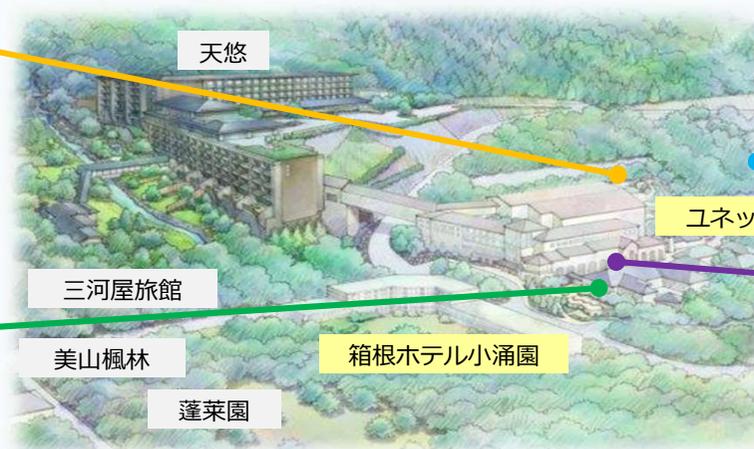
自然を満喫できるエリア  
手ぶらで楽しめるキャンプ場やBBQエリアを拡大

### 森の湯ゾーン

自然と癒しの和エリア  
貸切温泉を増設し、温浴施設としての魅力を向上

### 賑わいゾーン

箱根ならではの「食」や「買い物」が楽しめるエリア  
温泉だけではなく気軽に立ち寄れる場所へ



## 新会員プログラム「THE FUJITA MEMBERS」



- ▶2022年4月11日に導入
- ▶シンプルでより使いやすい会員プログラム
- ▶顧客データを蓄積し活用する基盤を強化、お客様一人ひとりにあった商品情報を提供
- ▶グループ内施設の相互利用を促進するとともに、ニーズ分析により商品力を強化

# 施設一覧 (2022年11月8日現在)



2022年12月期 第3四半期決算説明資料

WHG事業		リゾート事業		ラグジュアリー&バンケット事業	
<b>《宿泊》 36拠点 10,827室</b>		<b>《宿泊》12拠点 565室 (開業予定1拠点含む)</b>		<b>《宿泊》 1拠点 267室</b>	
<b>■ワシントンホテル (21拠点 6,619室)</b>		<b>■ホテルグレイスリー (11拠点 3,198室)</b>		ホテル椿山荘東京 267室	
仙台	223室	札幌	440室	<b>《婚礼・宴会》 3拠点</b>	
新宿 (本館)	1,280室	銀座	270室	マリーエイド	
秋葉原	369室	田町	216室	ルメルシェ元宇品	
東京ベイ有明	830室	浅草	125室	ザ サウスハーバーリゾート	
横浜桜木町	553室	新宿	970室	<b>《レジャー》 1拠点</b>	
浦和	140室	京都三条 (北館)	97室	カメラアヒルズカントリークラブ	
広島	266室	京都三条 (南館)	128室	<b>&lt;レストラン&gt; 2拠点</b>	
キャナルシティ・福岡	423室	大阪なんば	170室	東京大学伊藤国際学術研究センター内 レストラン【MC】	
山形七日町【FC】	213室	那覇	198室	明治大学 紫紺館 フォレスト椿山荘【MC】	
山形駅西口【FC】	100室	ソウル	336室	<b>会員制リゾートホテル</b>	
会津若松【FC】	154室	台北	248室	<b>《宿泊》 7拠点 460室</b>	
郡山【FC】	184室			<b>■ウイスタリアンライフクラブ</b>	
いわき【FC】	148室	<b>■ホテルフジタ (1拠点 354室)</b>		ヴェルデの森 100室	
立川【FC】	170室	福井【FC】	354室	箱根 18室 熱海 54室	
木更津【FC】	146室			宇佐美 58室 鳥羽 76室	
燕三条【FC】	103室	<b>■ホテルタピノス(3拠点 656室)</b>		野尻湖 64室	
関西エアポート【FC】	504室	浜松町	188室	プロミネント車山高原 90室	
関空泉大津【FC】	151室	浅草	278室	<b>その他事業</b>	
宝塚【FC】	135室	京都	190室	<b>《宿泊》 1拠点 214室</b>	
佐世保【FC】	190室	<b>海外現地法人・駐在員事務所</b>		ISORAS CIKARANG 214室	
新宿 (新館)【MC】	337室	上海			

# 会社概要



2022年12月期 第3四半期決算説明資料

上場取引所	東京証券取引所プライム市場	
社名	藤田観光株式会社	
証券コード	9722	
単元株式数	普通株式 100株	
	A種優先株式 1株	
事業年度	毎年1月1日～12月31日	
基準日	12月31日	
配当金支払株主確定日（普通株式）	12月31日および中間配当を実施するときは6月30日	
定時株主総会	毎年3月	
発行済株式の総数	普通株式 12,207,424株	計 12,207,574株
	A種優先株式 150株	
発行可能株式総数	普通株式 44,000,000株	計 44,000,150株
	A種優先株式 150株	
決算期	毎年12月31日	

IR担当部門 （お問合せ先）

藤田観光株式会社 企画本部 経理・財務IR部

TEL : 03-5981-7727

<https://www.fujita-kanko.co.jp/ir/index.html>

注意事項：

当資料は、藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。  
また、注記を行っている場合を除き、2022年9月30日現在のデータに基づいて作成しております。  
尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。  
当資料の転載はご遠慮ください。